

データ作成時の注意 (インデザイン CS ~ CS4)

裁ち落とし設定

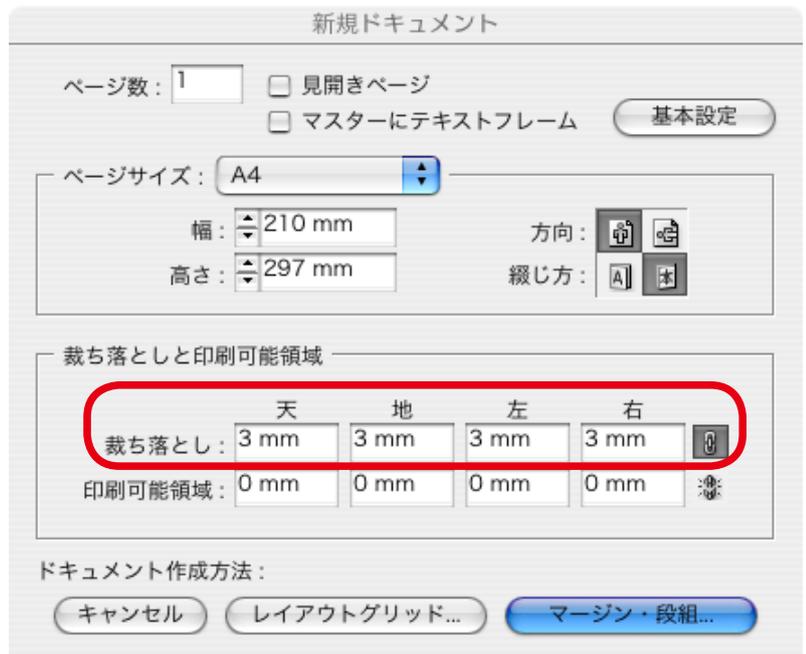
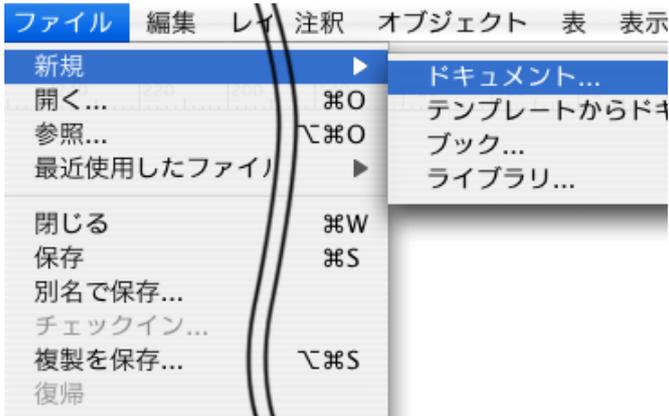
裁ち落としとは

裁ち落としの領域は原則的に仕上がりの断裁時に切り落とされる部分ですが、断裁時に紙のズレが発生した場合の予備(塗り足し※後ほど詳しい説明します。)の領域です。

裁ち落としの領域がないと、断裁時に紙がずれた場合に(何も印刷されていない)紙色が出てしまいます。断裁は1枚1枚断裁するわけではなく、数百~千枚の紙を機械で押さえてまとめて断裁します。このため断裁時にわずかにずれる場合があります。

新規にドキュメントを作成する場合。

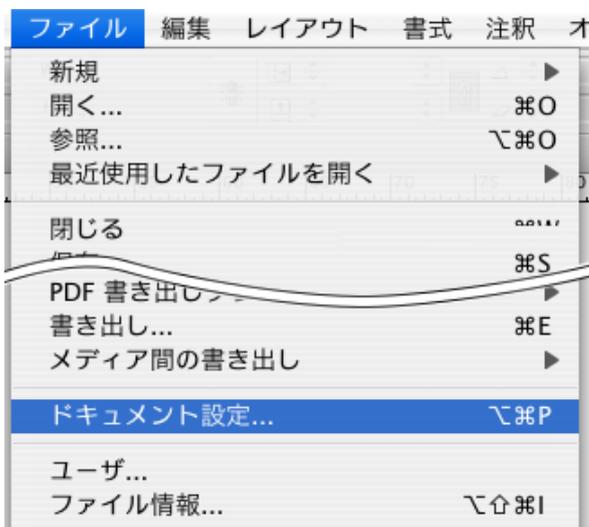
「ファイル」→「新規」→「ドキュメント」を選択します。



裁ち落としに3mmと入力して下さい。

作成中のドキュメントに設定する場合。

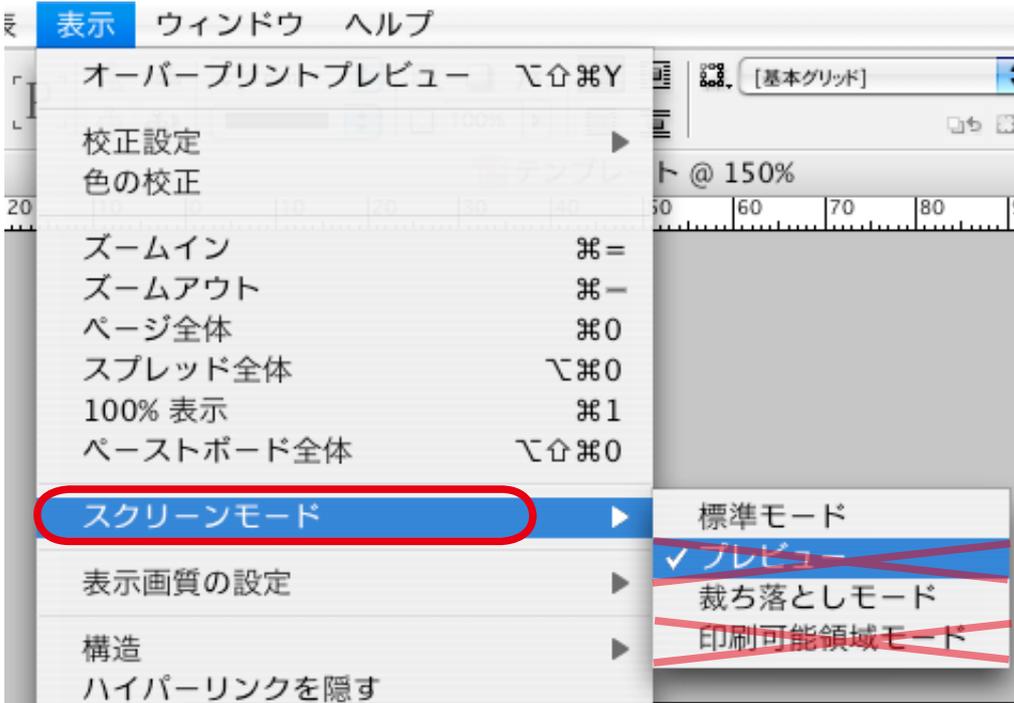
「ファイル」→「ドキュメント設定」を選択します。



裁ち落としに3mmと入力して下さい。

スクリーン設定

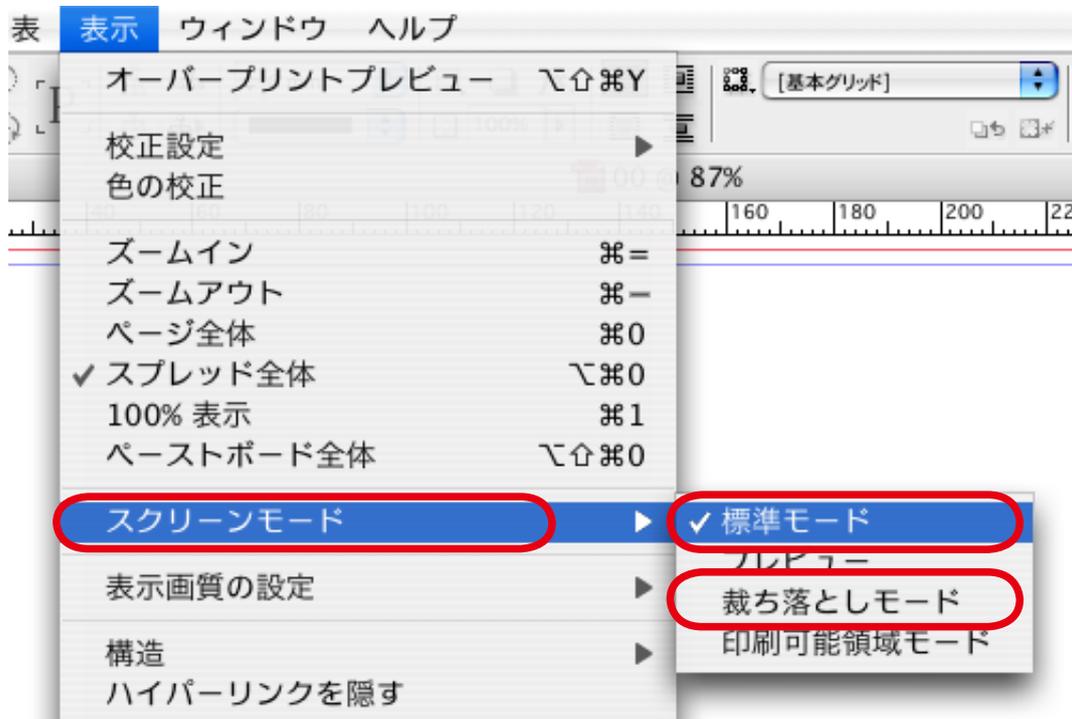
「表示」→「スクリーンモード」を選択します。



プレビューと印刷可能領域は選択しないで下さい。



※裁ち落としが見えなくなってしまいます。



標準モードか裁ち落としモードを選択して下さい。



※裁ち落としが赤枠として表示されます。

塗り足しを付ける。

写真やオブジェクトが仕上りサイズまで来る場合、微妙な用紙のズレや断裁時のズレにより白場が見えてしまう事があります。それを防ぐため、仕上りのサイズより外側に上下左右 3mm 程、余分に写真やオブジェクトの幅を広げておく必要があります。この部分を「塗り足し」といいます。データ作成時には必ず「塗り足し」をつけて作成して下さい。



仕上りサイズでデータができている。
断裁時白が出てしまうおそれがある。

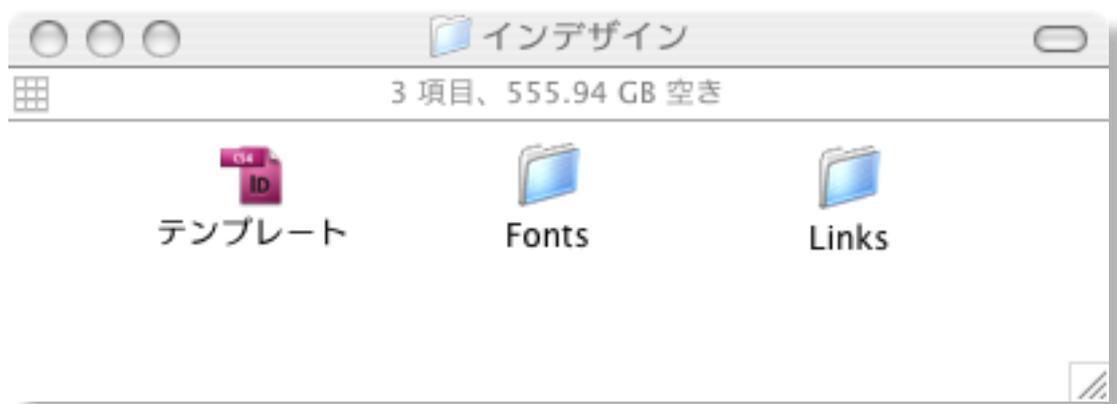


塗り足しまでデータが作成されている。

※断裁時の僅かな位置ズレにより、印刷仕上り範囲付近にある文字やデザインは切れてしまう可能性があります。

切れては困る文字やデザインは印刷仕上り範囲より 2～3mm 程内側で作成して下さい

データ入稿時の注意



リンク画像、使用フォントの添付

インデザインで画像データを配置し、リンクさせてご入稿される場合は、必ず配置した画像を添付して下さい。

添付を忘れられると画像が抜けた状態もしくは荒れた状態で印刷されてしまいます。

使用フォントを添付して下さい。当社にないフォントを使用されていると文字化け等のトラブルが発生しますので、ご入稿の際、ファイルと使用フォント、リンク画像を一つのフォルダにまとめてご入稿下さい。